

# 2022年度 第1回コンクリート常任委員会

## 議事録（案）

日時：2022年5月26日（木）14：00～

場所：Web+土木学会会議室のハイブリッド会議

出席者：下村委員長，山本幹事長

石田，岩城，岩波，上田，内田，岸，河野，古賀，小林，齊藤（成），佐伯，坂井，永元，二羽，原田，平田，本間，松田，松村，丸屋，森川，山口の各常任委員  
大島，加藤，田所，細田，前田，牧の各常任委員兼幹事  
佐藤（事務局）

### 配布資料：

- 1-0 令和4年度 第1回コンクリート常任委員会 議事次第
- 1-1 2022年度 コンクリート委員会 委員構成
- 1-2 2021（令和3）年度 第6回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 1-3 2022年度 コンクリート委員会・常任委員会 開催予定
- 1-4 示方書審議スケジュール（案）
- 1-5 示方書改訂小委員会 委員構成
- 1-6 示方書改訂小委員会 設計編部会 委員構成
- 1-7 示方書改訂小委員会 ダムコンクリート編部会 委員構成
- 1-8 暑中コンクリート設計・施工指針作成小委員会 研究委託願い（案）
- 1-9 締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工指針（案）修正原稿
- 1-10 2021年度一般会計決算，2022年度一般会計予算（案）
- 1-11 養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会委員変更
- 1-12 プレストレストコンクリート黎明期に建設された茂喜登牛水路橋の解体調査研究小委員会委員変更
- 1-13 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会委員変更
- 1-14 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究小委員会委員変更
- 1-15 2021年度 調査研究委員会の活動度評価の結果および2022年度調査研究費予算配分について

### 議 事：

1. 委員長挨拶（下村）

下村委員長より，挨拶があった。今年度は昨年度と同じ委員構成での活動となり，この体制の最終年度となる。示方書の改訂および昨年度からの継続案件等もある中で，より良いアウトプットを国内外に発信できるよう，委員各位のご協力を引き続き賜りたい。委員長としては，幹事団の協力を得ながら，委員各位が十分に活動できるようにサポートしていきたい。
2. 2022年度コンクリート委員会委員および幹事の確認【資料1-1】

下村委員長より，2022年度のコンクリート委員会の委員構成の確認があった。委員会の構成に昨年度からの変更はないものの，事務局が小川氏から佐藤氏に交代となり，佐藤氏より自己紹介があった。  
武若顧問の所属が変更になっていることから，山口委員に確認の上，新所属を反映させる。なお，変更されて以降の連絡は，山口委員を通じて届いているものと考えられる。その他に修正等があれば，事務局あるいは幹事まで連絡する。
3. 2021年度 第6回コンクリート常任委員会議事録の承認【資料1-2】

加藤幹事より，2021年度第6回コンクリート委員会常任委員会の議事録（案）の確認があり，異議なく承認された。前回の常任委員会で審議され，修正案の審議が予定されていた新規準案の2規格については，引き続き修正検討を要するため，次回以降に審議することとなった。

#### 4. 2022年度常任委員会開催日程【資料1-3】

山本幹事長より、2022年度の常任委員会開催日程について説明がなされた。

#### 5. 示方書審議のスケジュール【資料1-4】

示方書改訂小委員会幹事長の石田委員より、示方書審議のスケジュールについて説明がなされた。

#### 審議事項：

##### 1. 第1種・第2種委員会の委員構成【別紙資料】

###### (1) 示方書改訂小委員会【資料1-5】

下村委員長から、示方書改訂小委員会の委員交代について説明がなされ、異議なく承認された。

###### (2) 示方書改訂小委員会 設計編部会【資料1-6】

下村委員長から、示方書改訂小委員会設計編部会のオブザーバー追加について説明がなされ、異議なく承認された。

###### (3) 示方書改訂小委員会 ダムコンクリート編部会【資料1-7】

下村委員長から、示方書改訂小委員会 ダムコンクリート編部会の副主査の交代および委員の所属変更について説明がなされ、異議なく承認された。

示方書改訂小委員会の委員構成表では、各部会の「代表幹事」となっているが、各部会の委員構成表では、「幹事長」となっている。「代表幹事」という表現に統一する。

##### 2. 第2種委員会の設置

###### (1) 暑中コンクリート設計・施工指針作成小委員会【資料1-8】

委託側の代表として鹿島建設の渡邊氏より、委託内容について説明があった。

下村委員長より、本提案を受託し、委員長候補を細田幹事とする第2種委員会を発足させることが提案され、承認された。細田幹事が小委員会委員長を受諾した。今後、理事会で承認後、改めてコンクリート委員会に受託の要請がくる予定である。次回の常任委員会で委員構成案を審議する。

##### 3. 指針案の審議

###### (1) 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会（256）修正審議【別紙資料】

小委員会副委員長の加藤幹事より、修正案および修正の主な点について説明がなされた。主な意見は次の通りである。

・沈下量試験における粗骨材残存率40%の値について、過剰振動下での性状でなく、標準の振動下（5秒）で品質が満足されているか否かを確認する試験であった方がよいのではないか。

→標準の振動下では粗骨材残存率の値に大きな変化が確認されず、きわめて悪い品質のものをスクリーニングするという目的もあって、あえて過剰な振動を与え、性状が大きく変化するものを抽出できるように設定した。

→本来は、標準の振動を与えた場合の粗骨材残存率の時間変化を調べ、そのときの性状の変化から指標化するのがよいと考えられる。

・沈下量試験で上層部3cm程度から試料を採取することについて、粗骨材の最大寸法が20mmや25mmであるとき、試料の均質性に問題はないか。

→3cmは上層部の程度を表すために用いた表現で、容量としては2L採取することになる。ハンドスコップで静かに振動を与えず採取すれば、確かに測定誤差は大きくなるものの、判定結果には大きく影響しないことを確認している。

→ただし、例えば細長い容器となった場合など、全高に対する採取高さの比が変わると、結果が異なることが予想される。

・粗骨材残存率40%は、構造物中での指標でなく、試験での指標であることから、粗骨材の沈下率や沈下量といったような、試験の結果を表すような用語の方がよいのではないか。

→加振ボックス試験等で用いている粗骨材量比率の用語に合わせる形で用いたものであるが、検討が必要である。

・スランブフロー450mm, 550mmに限定しているが、今後、施工編に導入する場合には、高流動コンクリートと同じくスランブフローの範囲で示すのがよいのではないか。

→現状では上記以外のフロー値のものについてはデータが不足しているが、施工編で示す場合は、解説や改訂資料で今後のデータの蓄積も踏まえ、範囲で示すことを考慮したい。

本日の意見を反映することを条件に、修正案が承認された。ライブラリーの発刊は、現在、規準編で審議している2規格が常任委員会で承認されてからになる。また、講習会日程とその形態（オンライン等）については、規準編の2規格の審議の際に情報を紹介したい。

#### 報告事項：

##### 1. 2021年度コンクリート委員会決算および2022年度コンクリート委員会予算（案）【資料1-10】

山本幹事長より、2021年度の決算、および2022年度の予算について報告があった。

終了した重点研究課題（233委員会）の報告書が、技術シリーズなど報告書として発刊されているかどうかについて、牧連絡担当幹事が一宮小委員会委員長に確認することとなった。報告書が出ている場合、山本幹事長から常任委員会に情報を発信する。

##### 2. 第3種委員会の委員構成

###### (1) 養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会（356委員会）【資料1-11】

加藤幹事より、356委員会の委員変更について報告がなされた。

###### (2) プレストレストコンクリート黎明期に建設された茂喜登牛水路橋の解体調査研究小委員会（363委員会）【資料1-12】

加藤幹事より、363委員会の委員変更について報告がなされた。

###### (3) 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会（364委員会）【資料1-13】

加藤幹事より、364委員会の委員変更について報告がなされた。

###### (4) 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究小委員会（365委員会）【資料1-14】

加藤幹事より、365委員会の委員変更について報告がなされた。

##### 3. 講習会、成果報告会の開催報告

###### (1) コンクリート教育研究小委員会（201）公開座談会の開催報告

小委員会委員長の細田幹事より、小委員会の活動およびあわせて開催している公開座談会の第1回について報告がなされた。第3回の小委員会開催にあわせた第2回の公開座談会を、6月27日（月）16:00～17:00で予定している。

##### 4. その他

###### (1) 2021年度の活動実績について【資料1-15】

山本幹事長より、2021年度の活動実績について紹介がなされた。

###### (2) 養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会（356委員会）活動期間延長

加藤幹事より、養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会（356委員会）活動期間延長（2022年9月→2023年3月に延長）について報告がなされた。

#### 次回開催：

日時：7月12日（火）14：00～ Web会議＋土木学会会議室のハイブリッド会議

議題：幹事宛6月24日（金）までに